

第13回 全国鳥獣被害対策サミット



鳥獣害を超える!

～多様な人材が描く、新しい獣害解決への道～



東京
開催

令和8年 2月12日 木

大阪
開催

令和8年 2月26日 木

主催:株式会社ブランドウ・ジャパン

第13回 全国鳥獣被害対策サミットプログラム

東京開催

テーマ

Part.1～問題解決の枠組みを広げる

第1部

令和7年度 鳥獣対策優良活動表彰受賞者からの取組報告

令和7年度 鳥獣対策優良活動表彰を受賞された方から取り組みをご報告いただきます
※取組報告の前に「令和7年度 鳥獣対策優良活動表彰式」を開催

鳥獣被害対策の事例講演・パネルディスカッション

① 解題

鳥獣害を超えるための視座の転換～なぜ必要か／どのように実現できるか～

講演者 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所／鈴木 克哉 氏

② 取組事例紹介

鳥獣被害対策の本丸～鳥獣との闘いから過疎・人口減少の波との闘い～

講演者 島根県美郷町役場 美郷バレー課／安田 亮 氏

地域創造的アプローチによる鳥獣被害対策～神奈川県大磯町の取り組み～

講演者 神奈川県大磯町 産業観光課／弘重 稔 氏

第2部

野生鳥獣被害対策において目指すべき方向性とは～野生鳥獣と地域社会との共生関係の再構築に向けて～

講演者 株式会社日本総合研究所／大島 裕司 氏

③ パネルディスカッション

コーディネーター 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所／鈴木 克哉 氏

(休憩10分)

資機材展示・ポスターセッション・カタログ展示・利活用展示

開催当日は、近傍会議室にて資機材や利活用などの展示、鳥獣被害対策に係るポスターセッションのブースを設けます。
鳥獣被害対策に係る研究開発などについて、研究機関や関連企業による取り組みをご紹介します。

大阪開催

テーマ

Part.2～地域支援を担う人材の活用

鳥獣被害対策の事例講演・パネルディスカッション

① 解題

鳥獣害を超えるための地域支援～誰が／どのように地域を支えるか～

講演者 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所／鈴木 克哉 氏

② 取組事例紹介

人と食を活かした獣害対策の可能性～管理栄養士から見た獣害対策は都会の食問題を救う～

講演者 丹波篠山市獣がい対策支援員／木下 麗子 氏

新たなシカ対策による美郷バレーの共創～ピンチをチャンスに～

講演者 タイガー株式会社／小林 一木 氏

「獣害対策」を「地域の価値」へ変える人材活用～千葉県南房総におけるジビエ・里山保全を通じた関係人口創出～

講演者 合同会社アルコ／沖 浩志 氏

(休憩10分)

③ パネルディスカッション

コーディネーター 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所／鈴木 克哉 氏

資機材展示・ポスターセッション・カタログ展示・利活用展示

開催当日は、隣接のホールにて資機材や利活用などの展示、鳥獣被害対策に係るポスターセッションのブースを設けます。
鳥獣被害対策に係る研究開発などについて、研究機関や関連企業による取り組みをご紹介します。

サミットテーマ紹介

今年度のサミットは、『鳥獣害を超える!～多様な人材が描く新しい獣害解決への道～』というタイトルで、初の東京、大阪の2会場での開催となります。

特に今年度は、クマによる死者数が過去最多を大幅に更新し、国民の安心・安全を脅かす深刻な事態となっていることなど、従来の枠組みを超えた対策の必要性が一層高まっています。

東京会場は『Part.1～問題解決の枠組みを広げる』、大阪会場は『Part.2～地域支援を担う人材の活用』というテーマで開催し、今後ますます人口減少・高齢化が進む農村において、従来の枠組みを超えた問題解決のビジョンと、その実現に向けた人材やしくみについて、具体的な事例をもとに議論します。



農林水産大臣賞

被害防止部門

みたけの里づくり協議会

兵庫県 丹波篠山市

丹波篠山市畑地区の10集落で構成された住民主体の協議会。

サルによる被害が顕著であったことから、県や市役所などの行政機関と連携して、柵の設置や維持管理、追い払い、環境整備、放任果樹対策など多様な対策を実施。近年は、シカ・イノシシ被害対策にも地域一体となって取り組む。

地域内外の大学・高校・NPO法人などとも連携し、獣害対策×交流×学びを組み合わせ、多様な人材とともに、地域活性化を目指す「獣がい対策」を推進。

集落間及び関係機関・団体との連携を促進するため、複数集落を束ねる調整役として「獣がい対策支援員」を配置。

農林水産大臣賞

捕獲鳥獣利活用部門

おくみかわ

奥三河高原ジビエの森

愛知県 北設楽郡設楽町

捕獲したシカなどを捕獲者の処理負担を軽減しながら地域資源として有効活用し、地域の食文化をPRしていこうと、「奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会」が、ジビエ食肉処理施設「奥三河高原ジビエの森」を平成27年4月に創業。

ジビエの流通規格・トレーサビリティの導入や地域住民を対象としたジビエの調理方法のセミナーに早くから取り組み、多くの視察を受け入れるなど、ジビエの普及拡大に寄与。

農村振興局長賞

被害防止部門

大町市

長野県 大町市

サルによる農業被害の増加を受け、平成17年度にモンキードッグを導入して以降、追い払い活動を中心に対策を実施したが、群れ数及び頭数の増加により追い払いのみでは対策困難となったことから、令和2年度以降はICT技術を活用し、生息状況調査に基づく追い払い及び個体数調整に着手。

被害農家・猟友会・市の連携による総合的対策の実施により、サル被害の軽減を実現。サルの生息状況に関するGPS基地局及び取得データなどを近隣市町村と情報共有しながら、大町市がアドバイザーとなり、捕獲の講習会を実施するなど広域連携を実施。

農村振興局長賞

被害防止部門

こえさわ

越沢自治会

新潟県 村上市

サル被害が深刻化したことから、電気柵の設置や罠による捕獲活動を開始。鳥獣対策を農業者個人の問題ではなく「集落全体の課題」として捉え、専門家の助言を受けながら住民全員で取り組む体制を構築。

多面的機能支払交付金及び村上市有害鳥獣被害防止対策協議会事業費などを活用し、農地・水路・道路などの維持管理や環境整備、生き物調査、獣害対策を組織的に実施。集落とともに取り組みを進めるため、村上市地域おこし協力隊員が参画。任期終了後も、鳥獣対策及び集落環境維持活動を支える「獣害対策集落支援員」として活動。

農村振興局長賞

捕獲鳥獣利活用部門

ぐりんぴーす
株式会社 GreenPeace
平戸ファクトリー

長崎県 平戸市

イノシシによる農作物被害が拡大に伴う営農意欲の減退や、鳥獣対策の重要な役割を担う猟友会の高齢化が深刻な問題となる中、地域資源としての利活用に着目し、捕獲したイノシシの引き取り・利活用を事業化することを目指し、平成29年6月から民設民営にて取り組みを開始。

猟友会と提携したイノシシの捕獲・引き取り、専門的な知識に基づく食肉処理加工、及びインターネットなどを活用したジビエ肉の販売を通じて、農作物被害対策への貢献、高齢化する猟友会を支援するとともに、地域雇用を創出。

コーディネーターの紹介



すずき かつや
鈴木 克哉 氏

特定非営利活動法人
里地里山問題研究所
代表理事

特定非営利活動法人里地里山問題研究所(さともん)
<http://www.satomon.jp>



解説

鳥獣害を超えるための視座の転換 ～なぜ必要か／どのように実現できるか～

Profile 兵庫県立大学/兵庫県森林動物研究センターでの勤務を経て、平成27年3月に丹波篠山市で特定非営利活動法人 里地里山問題研究所(さともん)を設立。

全国で深刻化する獣害に対し、地域を元気にする新しい「獣がい対策」を提唱。「獣がい対策で農村の未来を創る」を理念に、多様な人材の参画を得て、人も野生動物も豊かに暮らせる持続可能な農村の新しいモデルづくりを行っている。

特定非営利活動法人里地里山問題研究所(さともん) 代表理事
一般社団法人ニホンザル管理協会 理事
農水省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー
総務省地域力創造アドバイザー
専門分野: 野生動物の被害管理、地域主体の対策推進、
獣害対策を契機にした地域活性化(獣がい対策)

取組事例の紹介



やすだ りょう
安田 亮 氏

島根県美郷町役場
美郷パレー課

美郷町公式SNS「美郷パレー構想note」執筆者
美郷パレー構想
<https://www.town.misato.shimane.jp/yamakujira/>



鳥獣被害対策の本丸

～鳥獣との闘いから過疎人口減少の波との闘い～

Profile 平成11年4月から現在まで、公私にわたり獣害対策やイノシシ等の利活用を通じた地域づくりを進め、獣害問題の解決は野生動物対策ではなく、都市農村の人間社会のあり方を問うことが対策の本質と自ら考え、現在は町の滞在人口・活動人口の拡大による「地域づくりを軸にした獣害対策」に取り組む。それにより、外部の力の呼び込みと、内なる住民の主体性の喚起により、人口減少による獣害対策をはじめとした社会機能の低下に抗いながら、獣害対策の先に見る持続可能な魅力ある町づくりに挑戦し続けている。



ひろしげ ゆたか
弘重 稜 氏

神奈川県大磯町
産業観光課 産業振興係長

大磯町:イノシシ・シカを寄せ付けない・増やさない地域づくり
<https://www.town.oiso.kanagawa.jp/soshiki/sangyokankoubu/sangyo/tanto/nourinsuisan/choujyuugai/15022.html>



地域創造的アプローチによる鳥獣害対策 ～神奈川県大磯町の取り組み～

Profile 農林漁業に関する業務を担当する中で、農業の鳥獣害対策の推進に従事。

大磯町では、駆除に偏重した、行政依存・補助金依存の鳥獣害対策から脱却すべく、「野生鳥獣を寄せ付けない・増やさない住民主体の地域づくり」を進めている。

そのために、鳥獣害対策をきっかけにした地域活性化を目指し、その先進地として知られる島根県美郷町との連携や、麻布大学及び地元高校との「高大接続・地域連携」の取り組み、里山林での「小さい林業＝自伐型林業」の推進などに取り組んでいる。



おおしま ゆうじ
大島 裕司 氏

株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門
サステナブル社会デザイングループ
部長/シニアマネジャー

株式会社日本総合研究所
<https://four-m.jp/>

野生鳥獣被害対策において目指すべき方向性とは ～野生鳥獣と地域社会との共生関係の再構築に向けて～

Profile 平成10年、大手建設コンサルタント会社に入社し、公共空間における各種環境対策、気候変動対策等に関する調査・計画策定などに従事。

平成18年に株式会社日本総合研究所に入社。再生可能エネルギー普及・拡大に向けた国の政策調査、官民連携による各種まちづくり関連事業の構築、住民参加型(市民出資)、成果連動型(PFS/SIB)事業の組成支援などに従事。

現在は、リサーチ・コンサルティング部門サステナブル社会デザイングループの部長/シニアマネジャーとして、持続可能な社会・地域づくりに向けて幅広く従事。

(総務省 地域力創造アドバイザー【地方公共団体GX、分散型エネルギー】)



コーディネーターの紹介



すずき かつや
鈴木 克哉 氏

特定非営利活動法人
里地里山問題研究所
代表理事

特定非営利活動法人里地里山問題研究所 (さともん)
<http://www.satomon.jp>



解題

鳥獣害を超えるための地域支援
～誰が／どのように地域を支えるか～

Profile 兵庫県立大学/兵庫県森林動物研究センターでの勤務を経て、平成27年3月に丹波篠山市で特定非営利活動法人 里地里山問題研究所 (さともん) を設立。
全国で深刻化する獣害に対し、地域を元気にする新しい「獣がい対策」を提唱。「獣がい対策で農村の未来を創る」を理念に、多様な人材の参画を得て、人も野生動物も豊かに暮らせる持続可能な農村の新しいモデルづくりを行っている。
特定非営利活動法人里地里山問題研究所 (さともん) 代表理事
一般社団法人ニホンザル管理協会 理事
農水省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー
総務省地域力創造アドバイザー
専門分野: 野生動物の被害管理、地域主体の対策推進、
獣害対策を契機にした地域活性化 (獣がい対策)

取組事例の紹介



きのした れいこ
木下 麗子 氏

丹波篠山市獣がい対策支援員
株式会社meguru
代表取締役

株式会社meguru
<https://kitchenchura.com/>



人と食を活かした獣害対策の可能性
～管理栄養士から見た獣害対策は都会の食問題を救う～

Profile 管理栄養士の資格を活かし、子どもの食育を専門に、施設献立の監修やセミナー事業を展開。
平成31年から参加しはじめたNPO法人里地里山問題研究所が運営する黒豆オーナーや川阪オープンフィールドの活動をきっかけに、丹波篠山での獣害問題や里山が抱える高齢化の現状を知り、自分の経験から関われることを模索。
柵点検や柵設置などの対策ボランティアだけでなく、都市部に向けての活動や農産物の紹介など、関係人口が増大するよう試みる。そして、令和6年に丹波篠山へ移住し、獣がい対策支援員として活動。



こばやし かずき
小林 一木 氏

タイガー株式会社
取締役

タイガー株式会社
<https://www.tiger-mfg.co.jp>



新たなシカ対策による美郷バレーの共創
～ピンチをチャンスに～

Profile 平成12年、タイガー株式会社に入社。商品開発を中心に、現在のタイガー株式会社の電気柵システムを確立。大阪市立大学大学院を卒業後、取締役役に就任。令和3年島根県美郷町に美郷バレー構想の参画企業として「美郷バレータイガー株式会社中国営業所」を開設。
美郷町に移住して、二地域居住アドバイザーを任命され、島根県邑智郡美郷町猟友会会長、認定捕獲等事業者、緊急銃猟、バックアップハンターなどを兼務している。

「獣害対策」を「地域の価値」へ変える人材活用
～千葉県南房総におけるジビエ・里山保全を通じた関係人口創出～

Profile 千葉県南房総地域にて、鳥獣被害対策に携わる中で、高齢化が進む農家や捕獲従事者だけでは地域を守り切れない現実に直面。「駆除」だけでなく、地域内外の人材をつなぐ「地域コーディネーター」が必要であると考え、活動する。
地域外の人材を受け入れる里山のコミュニティ拠点「ヤマナハウス」の運営を通じ、藪の整備や草刈りを「労働」ではなく、都市住民向けの「里山体験」や「フィットネス」として「翻訳」して提供したことが活動の大きな転換点となる。
現在は、捕獲個体を活用する「館山ジビエ」の推進と合わせ、獣害対策という「マイナス」を、交流や地域資源という「プラス」へ変えることで、関係人口を巻き込んだ持続可能な地域支援モデルを実践している。



おき こうじ
沖 浩志 氏

合同会社アルコ
代表社員

合同会社アルコ
<https://llcalco.com/>



カメラ・AI

(株)アイエスイー

<https://www.ise-hp.com/>研究
成果 ICT・IoTを活用した
最新捕獲管理システム

ICT・IoT活用の最新捕獲管理システムを展示いたします。
 ・遠隔監視・自動捕獲システム「まるみえホカクン5」
 ・長距離無線式捕獲パトロールシステム「ほかバト」
 ・獣判別センサー自動捕獲「アニマルセンサー」

(一社) 獣害対策先進技術管理組合

<https://sites.google.com/view/jugai-tech>人材
育成 獣害対策研修会・
オンラインセミナーのご案内

・先進技術と地域の力による「獣害対策研修会」(伊賀市現地開催)
 ・公助と共助、技術と地域の力による獣害対策研修会(仮題)(10/15名古屋開催)
 ・オンラインセミナー、オンライン相談会のご案内

柵

(株)赤城商会

<https://www.akagi-sk.co.jp>製品
情報 害獣侵入防止装置「わたれません」

道路上におけるシカ・イノシシの侵入防止用グレーチング。

近江屋ロープ(株)

<https://www.ohmirope.co.jp>製品
情報 獣害防止柵・補修補強資材

獣害防止柵を出展。鹿・猪から小動物・クマまで対応し、既存柵の簡単補強・補修にも使える資材を紹介します。

協和テクノ(株)

<https://www.kyowatecno.jp/>製品
情報 電気柵の電圧を遠隔で監視する
電気柵監視システム「エフモスジュニア Ver2.0」

電気柵の稼働状況をスマホで遠隔確認でき、低電圧時はメールで通知。点検の負担を軽減し、異常を早期発見することで防除効果を維持します。月々の通信費不要で導入後も安心の電気柵監視システムをご紹介します。

東レコムズ三島(株)

https://www.coms.toray/mishima/business/bus_003.html製品
情報 獣害対策ネット「鹿たまったくん」
中型動物侵入防止ネットシステム「かたまったくん」

熱硬化ポリエステルを使用した防獣ネットで従来ネット(ステンレス線入りPE)に比べ耐候性、耐摩耗性(噛み切り防止)に優れ、軽量で耐久性、自立性も備えており、設置と維持管理面での負担軽減効果をご紹介します。

忌避

未来のアグリ(株)

<https://www.mirai-no-agri.jp/>製品
情報 鳥獣害防除資材パンフレット

獣害対策資材(防除柵・罠など)のパンフレット展示。

(有)ティ.エム.ワークス

<https://shikasonic.com/>製品
情報 鹿ソニック/バードソニック/
いのどん・くまどん/ハイパー熊ソニック

高周波および低周波音を活用した鳥獣害対策用の忌避装置。鹿・猪・熊・鳥類などの習性に基づき、4パターン・各50種類の周波音をランダムに放射します。

データ・アプリ

Orbray(株)

<https://orbray.com/ehiot/>製品
情報 無電源 狩猟罠通知システム
(スマート捕獲/電池不要)

罠の作動状況や捕獲の有無、設置位置などをメールやSMSを通じて即時に通知。モバイル回線や衛星ブロードバンドに対応し、どこでも設置可能。自己発電デバイスを搭載し、電池不要。既存の罠に簡単後付けできます。

(株)GoatPlus

<https://goatplus.co.jp/>製品
情報 市民とハンターの命を守る
「緊急銃猟DX」

長野県発、行政の確実な指揮と射手の安全を守る緊急銃猟システム。進捗管理・地図共有・ライブ配信・AI相談で意思決定を支援。現場ハンターと砂川事件担当弁護士の見解を結集した実機展示。

(株)サーキットデザイン

<https://www.tracking21.jp/>製品
情報 動物位置情報システム「ANIMAL MAP」
およびGPS首輪発信器

ANIMAL MAP、GPS首輪発信器、ビーコン発信器、電気柵電圧監視装置等鳥獣対策に活用できる資機材の展示。

(株)JVCケンウッド

<https://www.jvckenwood.com/jp/>製品
情報 携帯電波圏外での
安全安心・情報共有通信システム(熊対策等)

携帯電波圏外において、業務用無線機とスマートフォンを活用した音声通信、位置管理、自動緊急通報、熊の足跡等のポイント登録、犬の位置管理等が可能なシステムです。
<https://www.soko-co.jp/>

(株)huntech

<https://huntech.jp/>製品
情報 獣害対策DX

捕獲報告をスマホですぐに完了!捕獲者だけでなく、確認・集計する行政側の負担も大きく軽減します。特別な機器も不要ですぐに利用が可能!

株式会社 北陸電力 伊ノベーション推進本部 新価値創造研究所

<https://www.hokutsu.co.jp/>製品
情報 害獣の自動検出AI通報システム
「Bアラート」

害獣の自動検出AI通報システム「Bアラート」についてご紹介します。クマやサルなど特定の害獣の出没を検出し、確度の高いリアルタイム通報を実現することで、獣害対策を効果的にアシストします。

ドローン

(株)スカイシーカー

<https://skyseeker.jp/>技術
情報 ドローンを活用した
効率的な野生鳥獣被害対策ソリューション

ドローンを活用した野生鳥獣対策ソリューションの紹介を、パンフレットや撮影動画、実機を用いてご説明いたします。

その他

NPO法人 里地里山問題研究所

<https://satomon.jp/>自治体
支援 地域主体の獣害対策伴走支援
(コンサルティング/人材育成)

確かな技術と方法論を用いた地域主体の獣害対策推進支援、多様な人材との協働による持続可能な農村を支える「獣害対策」モデルづくり支援、各種専門人材育成について、ご説明・ご相談を承ります。

カメラ・AI

鳥獣被害対策ドットコム (株)地域環境計画
www.chiikan.co.jp

製品情報 ツキノワグマ対策商品

FieldLive (通信機能付きトレイルカメラの画像データを管理するアプリ)、箱ワナ用センサー (ワナの番人、WANAセンサー)、サーマルスコープ (熱画像直視装置) をご案内します。

Biologging Solutions(株)
https://animal.logglaw-cloud.com/

製品情報 次世代GPS首輪および鳥獣害対策用総合ポータルサイトの展示

次世代GPS首輪: LoggLaw G2C (太陽電池+LTE-M) と、出没共有・ヒートマップ・接近アラートのアニマルポータルを展示。開発中のアニマルポータルの新機能も紹介します。

柵

(株)カムズ
https://cams.co.jp/

製品情報 熊対策フェンス「GAMS MESH CUBE」

昨今問題になっております、クマに対する新たなアプローチとしての商材をご紹介させていただきたく思います。また安全な処理方法もご紹介させていただきたいと思っております。

サージミヤワキ(株)
www.surge-m.co.jp

製品情報 獣害対策用電気柵 (ガラガー製品)

ガラガー社製パワーユニット・電圧測定器等・カタログ展示。

(株)末松電子製作所
https://www.getter.co.jp/

製品情報 電気柵「ゲッターシステム」
電気柵関連資材・電気止め刺し器

鳥獣の侵入防止用電気柵システム及び、電気柵の状態管理が可能な電圧管理システム「ゲッターモニタリングシステム」、捕獲後の鳥獣処理用の電気止め刺し機「エレキブレード」シリーズの展示。

正和商事(株)
https://seiwashoji.net/

製品情報 農林業向け総合獣害対策資材

農林業の獣害対策用ネット柵、ワイヤーメッシュ柵、環境配慮型金網柵、電気柵、忌避資材、檻など。各種補助金の要件を踏まえた製品の展示・アドバイスも実施しております。

データ・アプリ

(株)トーアミ
https://toami.co.jp/

製品情報 いのししくん

獣害製品のサンプル展示及び来場者様へのご説明をいたします。

RFJ(株)
http://www.rfjapan.co.jp/index.html

製品情報 スマートHOKAKU/MIELOUPE

「スマートHOKAKU」と「MIELOPE」により、捕獲・被害・位置情報を一体管理し、現場負担の軽減と科学的な管理 (EBPM) を実現する自治体向け実装モデルを提示いたします。

忌避

イーマキーナ(株)
https://emachina.co.jp/

製品情報 屋外用害獣忌避装置
Evasi AW (エバジーオールウェザー)

超音波害獣忌避装置「Evasi AW (エバジーオールウェザー)」、害鳥忌避装置「Evasi CRO (エバジークロウ)」を展示致します。どちらも実績は多数あります。

(株)フジナガ
https://www.fujinaga810.co.jp/

製品情報 鳥害対策専門総合コンサルタント

鳥害対策専門の総合コンサルタントです。鳥害対策製品各種の企画・開発・製造から施工までを一貫して行う専門メーカーです。建築物に対する被害対策実績多数。一次産業に向けてのサービスを拡大中。

雄貴(株)
https://www.yuhkikihizai.com/

製品情報 アッチッタ! (ハト用・カラス用)

ハト用忌避剤およびカラス用忌避剤 (当社商品) のご案内。光とニオイによる対策であり、殺生などすることなく寄せ付けなくする商品。使用方法についても吊り下げなど容易なものになります。

ドローン

(株)アエロジャパン
https://flyaero.jp/

製品情報 ハンティングドローン

クマや鳥獣害対策用のドローンを出品いたします。

施設

中央特機(株)
https://chuo-tokki.com/

製品情報 有害鳥獣焼却及び減容化について

有害鳥獣最終処理機および焼却炉のカタログ・リーフレット・パネルの展示および配布。ノートパソコンを使用した、製品紹介動画の展示。

ジビエ利用

北海道 環境生活部 自然環境局 野生動物対策課
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/

情報発信 北海道における狩猟とジビエ

北海道における狩猟やジビエの魅力について、道庁担当者から情報発信を行うことにより地域へのハンターの来遊や本道発のジビエの利用拡大の促進を図ります。

その他

NPO法人 里地里山問題研究所
https://satomon.jp/

自治体支援 地域主体の獣害対策伴走支援
(コンサルティング/人材育成)

確かな技術と方法論を用いた地域主体の獣害対策推進支援、多様な人材との協働による持続可能な農村を支える「獣害対策」モデルづくり支援、各種専門人材育成について、ご説明・ご相談を承ります。

みのる産業(株)
https://www.minoru-sangyo.co.jp/

市場調査 (製品PR) ストリア捕獲機

ストリア捕獲機現物、パネルの展示。

主催:株式会社プランドウ・ジャパン

〒105-0012

東京都港区芝大門2-3-6大門アーバニスト401

TEL:03-5470-4401 FAX:03-5470-4410

<https://www.plando.co.jp/choju-summit/>

農林水産省 令和7年度 鳥獣被害対策基盤支援事業



アンケートに
ご協力お願いします